

業 績 目 録（令和 6 年）

大学院科目名：細胞再生医学

(A-b) 和文著書

- 1 倉橋敏裕、原田義規、戴平. Medical Science Digest 2024 年 11 月号 50 巻. 最先端医療の今「低分子化合物誘導性細胞の移植による脊髄損傷モデルラットにおける治療高価」. 株式会社ニューサイエンス社, 東京 : pp689-692, 2024.

(C-a) 英文原著

1. Takeda Y, Yoshikawa T, Dai P. Angiotensin II participates in mitochondrial thermogenic functions via the activation of glycolysis in chemically induced human brown adipocytes. *Sci Rep.* 2024 May 11;14(1):10789 (IF= 3.9)
2. Takeda Y and Dai P. Functional roles of pantothenic acid, riboflavin, thiamine, and choline in adipocyte browning in chemically induced human brown adipocytes. *Sci Rep.* 2024 Aug 6;14(1):18252 (IF= 3.9)

(D) 学会発表等

Ⅱ) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1. 武田行正. 遊離脂肪酸の供給によるヒト褐色脂肪細胞脱共役タンパク質 UCP1 の新規転写制御. 第 78 回日本栄養・食糧学会大会, 2024, 福岡
2. 武田行正. ヒト褐色脂肪細胞の熱産性機能を制御する Angiotensin II による糖代謝の活性化. 第 45 回日本肥満学会, 2024, 横浜

E 研究助成（競争的研究助成金）

総額 810 万円

公的助成

代表（総額）・小計 510 万円

1. 戴平 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（C）
令和 4～令和 6 年度「新規パーキンソン病治療薬の研究開発」 助成金額

80 万円

2. 倉橋敏裕 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C)
令和 5 ～令和 7 年度「低分子化合物誘導性 HGF 産生細胞における HGF 発現制御メカニズムの解明」 助成金額 110 万円
3. 武田行正 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B)
令和 3 ～令和 5 年度「前駆細胞の誘導によるヒト褐色脂肪細胞の新規な増幅技術基盤の構築」 助成金額 320 万円

財団等からの助成

代表 (総額) ・小計 300 万円

1. 武田行正 公益財団法人武田科学振興財団
2022 年度医学系研究継続助成 (基礎)
令和 5 ～8 年度「低分子化合物誘導性ベージュ細胞を用いた新規な褐色化メカニズムの解明」
助成金額 300 万円